

“If not us, who? If not now, when?”

映画ハリー・ポッターのハーマイオニー役で有名な女優のエマ・ワトソンさんは、女性の地位向上と男女平等を目指す国連機関UN Womenの親善大使に任命され、その男女協力キャンペーンHeForSheについて国連本部でスピーチを行いました。雄弁というよりむしろ緊張に耐えながら、キャンペーンに寄せる思いを語ったそのスピーチの後半、彼女は自分の役割に対して、自分自身に言い聞かせています。“If not me, who? If not now, when?” 「私でなかったら、誰が？ 今でなかったら、いつ？」

農業環境変動研究センターは、この4月からそれまでの農業環境技術研究所を母体とした農研機構の重点化研究センターとして新たなスタートを切りました。私たちの役割を考えると、ワトソンさんがスピーチに際していただいたであろう気持ちに似たものを感じています。私たちは、気候変動、生物多様性、物質循環、有害化学物質リスク管理、環境基盤情報の発信といった農業生産上の重要課題に取り組んでいます。本ニュースでも取り上げている気候変動に関しては、温暖化が今後の農業生産に与える影響の評価、顕在化しつつある農作物被害への対策技術の開発、農業活動により排出される温室効果ガスを削減する技術の開発などを進めています。地球規模の大きな変化の中で、個々の技術や成果が単独で直接大きな変革をもたらすことは少ないかもしれませんが、しかし、確実に進行しつつある気候変動とその農業への影響に対し手をこまねいているわけにはいきません。私たちは、科学的根拠にもとづく成果を積み上げ、農研機構内はもとより様々な機関との連携により将来にわたり食料生産の向上につながる技術開発を推進していきます。また成果をわかりやすく発信することで、多くの皆さんに私たちの取り組みへの理解を深めていただけるよう努めていきます。

“If not us, who? If not now, when?”

渡邊 朋也

農研機構 農業環境変動研究センター
所長 渡邊 朋也（わたなべともなり）

